



# 平井MJだより

平井民生児童だより 第21号

発行日：令和2年5月

発行者：平井地区民生委員・児童委員協議会 会長 那須和夫

## 民生委員・児童委員の一斉改選

一任期：2019年12月1日から3年間

主任児童委員		委員										会計監査	会計	地域福祉推進委員	副会長	副会長・地域福祉推進委員	会長	役職		
																			氏名	担当地区
土屋 基巳	甲斐 美恵	選任中	万谷 義直	酒見 寛	野崎 博子	藤森 順江	吉村 全弘	服部 みさを	赤井 藤子	原田 真一	坪田 万里子	中島 直美	難波 治彦	大藤 浩伸	佐藤 浩子	妹尾 義和	田中 千代	那須 和夫	新町、市営住宅	
平井地区全域(深刻化している児童福祉問題に、広域的・専門的に取り組む)		市場	川東(一〜五班)	北川	平井上町	中央町、栄町、緑ヶ丘	湊(八〜十三組)	あすなろ、国富田	元上町、元町、平井六丁目一部	湊東山ニュータウン	川東(六〜十班)、サンホーム	四軒屋、成徳学校	湊(五〜七組)	すみれ、東町	土手、須賀	湊(一〜四組)	操南団地、平井荘苑			

左の表のように、平井地区の民生委員・児童委員が決まりました。厚生労働大臣の委嘱を受けて、昨年十二月一日から活動を始めています。(民生委員は児童委員を兼任)

継続して務める方も、初めて委嘱された方もありますが、左表の分担をベースとして、今後三年間、那須会長以下全員が協力して地域福祉の充実に努めてまいります。

民生委員・児童委員は、地域の皆さんが安心して暮らせるように、住民の「身近な相談相手」「必要な支援の行政とのつなぎ役」です。専門職ではありませんので、直接的な支援には限界がありますが、常に住民の立場に立って相談に応じ、地域福祉の増進に努めてまいります。裏面に、全員の自己紹介と抱負等を掲載していますので、参考にしていただければ幸いです。



平井地区民生委員・児童委員協議会 集合写真



平井地区民生委員・児童委員協議会 会長 那須和夫

### 地域の方に

平井地区民生委員協議会の会長としての一期(三年)を昨年十一月末で終えました。十二月一日より、交代した五名を加え一八名(欠員一名)の民生委員・児童委員と主任児童委員で協力して活動をしていきます。

平井地区民生委員は一人が二百〜三百世帯(町内会・自治会単位)を担当します。毎月定例会を開催し、行政機関・学校園と情報交換や研修をしています。

民生委員は福祉の専門職ではありませんが、地域福祉の相談相手としての問題の解決には専門機関と連携して相談に応じ問題の解決が出来ますように支援を行います。民生委員には「守秘義務」があり、相談内容や個人情報は家族にも漏らすことはありませんので安心してご相談下さい。

そして、今年新型コロナウイルスが発生し感染が拡大、いつ収束するかわからない状況です。私たちができる感染予防は、石けんですっきりと手洗いをし、手指を消毒用アルコール等で消毒をすること、「密閉」「密集」「密接」の三つの密を避けるために、「不要」「不急」の外出を避ける事ではないでしょうか。

【一人一人が油断せず、感染防止対策をすれば大切な人が助かります】

### ごあいさつ

四月より、地域担当職員として東山公民館に配属された上小谷恵子です。主な仕事は、①平井・旭東学区の各団体のご相談やご要望などを本庁・区役所に取り次ぐこと、②安全・安心ネットワークを中心とする防犯・交通安全・防災・環境美化・地域福祉・健康作りを支援することです。

毎日が手探りの状態ですが、ご指導をよろしく願っています。



東山公民館 地域担当職員 上小谷恵子 (かみこだにけいこ)

地域のつながりを大切に

田中千代
八期目になります。長いだけで、充分なことができていないかもしりませんが、今後も皆様が安全安心に暮らせる様にお手伝いをしていきたいと思います。

二期目の民生委員・児童委員

妹尾 義和

二期目は副会長として、那須会長をサポートする役を仰せつかりました。担当地区だけでなく、公民館活動等にも力を入れて、地域福祉のお手伝いを進めていきます。顔を見たら、遠慮なく声をかけてください。

三期目を迎えて

佐藤 浩子

三期目を迎えて私自身も高齢者の仲間入りをし、ご近所の方との日々のつながりが大事だと実感しています。些細な事でも遠慮なくお聞かせ下さい。

気取らずに

大藤 浩伸

三期目になって、ふと道で顔をみたら、挨拶して話が出るようになりました。その中でお手伝い出来る事があれば寄り添いたいと思っています。

民生児童委員二期目に向けて

難波 治彦

湊町内会は三名で組別に分担しており、一期目は全員が新任で、研修会等で勉強しながら取り組んできました。二期目は、独居高齢者や高齢者のみのお宅の異常等の早期発見のため、声かけ活動を充実し、安心して暮らせる町内を目指します。

近所との絆を大切に

中島 直美

「遠くの親戚より近くの他人」ということわざがあります。万が一の急を要するに時に、近くにいる人が力になってくれるという事です。民生委員に気軽に声をかけてください。

3年間どうぞよろしくお願ひします。

子供達の登校を見守り十五年

坪田 万里子

毎朝、小学校に通う子供達の見守り活動(青パト隊)を続けています。給食に呼んでもらった時に、「平井小学校の一期生だよ」と答えると、年齢をズバリと当てられ、数字に強い子供達を頼もしく思いました。

いつもありがとうございます

原田 真一

二期目を迎えます。皆さまの声を聞きまして、お手伝いできることを少しずつでも増やしていくことができればと思います。

お会いした時は、気楽にお声をかけてください。

「赤井さん」と声かけてね

赤井 藤子

主任児童委員から担当が変わりましたが、高齢者の方への目配りとともに子どもたちへの思いも持ち続けていきたいと思ひます。かわいひ声で「赤井さん」と呼ばれると寿命が延びます。

二期目も頑張ります

服部 みさを

少しずつですが地区の方々とお話が出来ようになりました。もつとたくさんのお声を聞かせて頂き、安心できる地域作りのお役に立てるよう頑張りたいと思ひます。

経験を生かして

吉村 金弘

四十歳で脱サラして、牛窓で宿泊業、六十歳から介護職を経験、湊に住んで十二年目です。色々な職業を経験し、色々な病氣も経験しました。これまでの経験を民生の活動に生かしていきたいと思ひます。

人との出会い

藤森 順江

二期目に入り地域の方々との触れ合いが、少しずつ出来てきました。顔も名前も分らなかつた方が、だんだんと分つてきました。これからはもつと地域の方との触れ合いを大事にしたいと思ひます。

あいさつから繋がり!

野崎 博子

「お元気でしたか?」「や」と買い物に行つて来たところじやあ。歩かんといけんと思つてなあ。」という出会う高齢者の方との会話から今日も元気をもらつています。「平井地域福祉応援団」としてこれからも頑張ります。

新任です

酒見 寛

この度、民生委員・児童委員の重任を拝しました。会社勤めをしながらですが、精一杯、我が地域のお役に立てるよう努力して参ります。

第三の人生を地域社会と共に

万谷 義直

人生百年時代、会社勤めも終え第三の人生に入りました。民生委員・児童委員として社会から受けた恩を返して行けるよう健康に留意し歩んで行きます。

新任の主任児童委員です

甲斐 美恵

平井学区の子どもたちが、地域で安心して暮らし、成長されることを願ひ、微力ながら力を尽くしたいと思ひます。

ひらいつ子

土屋 基巳

平井で育ち早六十三年。平成五年から十二年までPTAで地域の皆様に支えられたことに感謝です。四十年程福祉に就いて経験を活かしていきたいと思ひます。

子育てワンポイント

「ピンチをチャンスに!」

新型コロナウイルスの流行で突如の休校となり、子ども達が家庭で過ごす時間が長くなりました。外出を控える日々が続く、最初は自由を喜んでいた子ども達も、徐々に時間を持た余したり、ストレスを溜めたりしているのではないのでしょうか。

このような時こそチャンスです。親が何でもしてくれて、子どもはしてもらう立場という考え方を変えるいい機会と捉え、「子どもも家庭を助ける一員」ということを理解してもらいましょう。

そのために、親と子どもが一緒にやることを増やすことです。そうすると生活のリズムを作りやすくになります。一緒に昼ご飯を作る。掃除や洗濯をする。買い物をして家計簿をつけてみる。縄跳びや散歩をする。散歩は、カメラを手に毎日コースを変えながら草花の写真を撮り、新しい発見をする。歩数計で歩数を数える。もちろん親も共に楽しみましょう。

そんな中で、子どもができたことをきちんと認めて褒めることが大切です。褒められることにより子どもは安心し、自信をもつことができ、次への意欲につながります。

親も子どもも不安な状況の中で、このピンチをチャンスに変えていきませんか。



☆平井って住みやすい町!

ある民生委員のつぶやき

近所のスーパーに買物に行きました。一人で力コを持って、さっさと目的の品物を入れレジに並びました。十一時過ぎだったのでレジの前に沢山の人が並んでいました。私の前に五、六人がカートを押して待っていました。レジ前の通路はカート二台がギリギリすれ違える幅でした。一人の

女性が横の通路から曲がってレジ前の通路に入ってきました。あつという間に、曲がり角に四段に積み上げた段ボール(二のペットボトル二×三三六本)のお茶が倒れました。カートが引掛かったので、二段目・三段目・四段目が通路に倒れたのです。

それからが見事でした。私を含め近くにいた数人が、すかさず状態を把握し、先ず段ボールごと倒れた二段目と三段目を一段目の上に戻しました。箱を開けて六本のペットボトルが乗っていた四段目は、箱とお茶がバラバラに散らばったので、ここは冷静に、空箱を三段目の上に置いてからペットボトルを一本ずつ拾って戻しました。幸い箱は壊れていなかったため、ほぼ元通りに復旧できました。見事なチームワークでした。そして、手伝った数人は黙って元のレジ待ちの列に戻り、倒した女性はお礼を言いながら立ち去っていききました。この全てが約二分の出来事でした。

私は、「これは凄ひ、平井って良いところだな!!」と感心しましたが、後日談で「あの店は遠くからの買物客が多いんで、並んでいた人が平井の人かどうかは分らんよ。」と言われました(笑)。数日後に改めてその店に行くと、お茶の段ボールは二列後方に移動されており、更に、そこだけ少し通路を広めにとつてあつたので、あの時見ていたレジの店員さんの意見を入れて、店側が置き場を改善したものと考えられます。やるなあ平井!!